

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0590400180		
法人名	株式会社 タクト		
事業所名	グループホーム 観音堂		
所在地	秋田県大館市字観音堂391		
自己評価作成日	平成28年8月27日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.akita-longlife.net/evaluation/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会		
所在地	秋田県秋田市下北手松崎字前谷地142-1		
訪問調査日	平成28年10月24日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

明るく楽しい雰囲気の中での生活。
入居者様お一人おひとりに寄り添ったケアの実施。
職員にとって働きやすい職場の環境作り。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

利用者が在宅時に行ってきたことと変わらないあたりまえの日常が送れるように、より家庭的な雰囲気を持った運営を理想とし、これまでの生活の延長線上にあるように、利用者の意思、希望の表出が自然に行われて活躍できる場面をつくっています。敷地内の他施設と合同で行われる夏祭りは、年代に合わせた案内チラシを作成して幼稚園、地域の商業施設に提示していただき、町内会の協力も得て開催されています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～53で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
54	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	61	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
55	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	62	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
56	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	63	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
57	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	64	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
58	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
60	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	福祉事業部の理念を基に、職員で理念を作りました。新しい職員にも自施設内での実習を行い、理念に添ったケアの実施に心がけております	より家庭的な雰囲気の中で在宅時に行っていたことが継続できるよう利用者と関わりを持ちながら支援することを心がけ、理念の実践に繋がっています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	同敷地内にある事業所と合同で夏祭りを企画、開催し、地域の方々との交流を行っております。また、散歩を日課とし、挨拶や会話を通じて、地域の方々との交流する場を設けております	隣接するデイサービスの催しや敷地内の合同夏祭りに参加し、地域の方と交流されています。夏祭りではテントを借りたり、子供神輿の披露等、町内会の協力が得られています。	
3		○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	ご家族様や地域の方々に参加して下さるような行事の企画をし、日常の入居者様との関わり方等を見ていただく機会を設けております		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は定期的に行い、施設の状況を報告しております。また、委員の方々からの助言やアドバイスを頂き、サービスの向上に努めております。	行政の他多くの地域の代表が参加し、ホームの状況報告だけでなく、夏祭りや災害について意見交換されています。会議を運営に具体的に活かせるよう努めています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	待機者様の状況や、他施設の待機情報を教えてもらったり、災害時の対策等を検討したりしております。	運営推進会議を通じて、また、制度上の不明点を相談する等、協力関係が築けるよう努めています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	夜間は防犯上施錠しておりますが、日中は施錠せず対応しております。職員の採用時には、行動指針・身体拘束の研修を行い、知識の習得に努めております。	身体拘束はされておりません。何気ない声かけが拘束に繋がらないように気をつけています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	新採用者には、新任研修として、何が虐待に当たるのか等を含めた研修を行っております。また、日々の生活の中でも虐待が起きないように注意を払い、防止に努めております		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修の参加、その後の内部研修等を行い知識の習得に努めたいと思います		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約をされる前に施設の見学をお勧めし、設備等を案内しながら施設の雰囲気を見ていただいております。また、契約時もゆっくりと説明させてもらい、理解していただいております		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	職員間では日々の申し送りや連絡帳を活用し、入居者様やご家族様の要望を伝え周知を図っております。また、意見や要望に関しては、出来る限り添えるよう、検討・対応しております	面会時に話しをし、要望等が聞けるように努めています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議や日々の申し送り、雑談の中で、職員が少しでも話しやすい環境を作り、業務に活かせるよう努力しております	設備や環境面について意見や要望があった際に、或いは法人代表が来訪した際に状況を伝えており、改善される事例もあります。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の性格や能力を考慮しながら、楽しく笑顔で働ける職場の環境づくりに努めております。また職員が向上心を持って働けるよう、資格習得に向けての補助を行っているます		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、代表者自身や管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の能力に合わせた外部研修への参加、その後の内部研修を行っております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	なかなか相互訪問等が出来ていない現状です。同系列のグループホームや有料老人ホームと相談し、今後行って参りたいと思います		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	契約・入居前に必ずご本人様にお会いし、現状の把握に努めております。また、入居後はアセスメントシートを回覧しながら、ホームでの生活状況を確認し、ご本人様が安心して暮らすことが出来るような環境づくりに努めております		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	まずは施設を見学し雰囲気を見ていただいております。また、面談はご家族様のご都合に合わせて、日時や場所を決定し、ゆっくりとお話出来るよう配慮しております		
17		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様お一人お一人に合わせた距離間で接し、入居者様本位のケアを行うことを心がけております		
18		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様に、いつでも気軽に来ていただけるような施設の雰囲気作りと、入居者様とご家族様が一緒に楽しめるような行事の企画を行っております		
19	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	在宅時に通われていた美容院の継続や、受診先の継続をし、馴染みある方との関係の継続に出来る限り努めております	入居前の情報や日々のアセスメントを通して把握できることもあり、楽しみにしていたこと等が継続できるように支援されています。	
20		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	愛称や認知症状にあわせ、席の配置を換えたり職員が間に入り会話をすることで入居者様同士が少しでも良好な関係を築けるよう配慮しております		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設へ転居された方への面会や、退所後の行事へのお誘い等、ご本人様やご家族様が負担にならない程度に継続しております		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
22	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人様やご家族様からの聞き取りをし、全職員で話し合いを行っております。また、困難な方に対しては、日々の暮らしの中から表情から気持ちを汲み取り希望や意向に添えるよう努力しております	1日1回は意識的に利用者に関わりを持ち、何かを発見できるよう取り組まれています。会話の中から希望することを聞いて介護計画に反映できるよう検討されています。	
23		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	在宅時の担当介護支援専門員やサービス利用施設からの情報を基に、在宅中の暮らし方、生きがいを見つけ、できる限りホームでの生活でも継続できるよう努力しております		
24		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	全職員が入居者様それぞれの一日を把握できるよう、介護記録をこまめに残し、閲覧するようにしております。また、申し送りや職員会議等で話し合い、現状の把握に努めております		
25	(10)	○チームでつくる介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様やご家族様の意思を尊重しながら、職員がケア会議で話し合い、ご本人様の現状に添った介護計画の作成に努めております	モニタリングには職員全員が関わり、現状に沿った介護計画となるよう話し合われています。家族には状況を説明し、同意を得ています。	より効果的な記録の仕方に工夫を期待します。
26		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の状況をケア記録に残し、申し送りやケア会議等で職員が話し合い、情報の共有とケアの実践、介護計画の見直しに活かしております		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入居者様一人ひとりの状況を把握し、町内会長、近隣の方々、かかりつけ医等に都度ご協力を頂いております		
28	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所との関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居の際は、協力医や協力薬局の説明をさせて頂いておりますが、できる限り在宅時から通われていた病院の継続を行っております。協力医には月2回の回診に来てもらい、入居者様の体調管理をしていただいております。	希望する医療機関で受診されており、家族が通院介助されることもあります。緊急時には家族に連絡している他、受診記録を残しています。	
29		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	現在、看護師の採用は行なっていませんが、入居者様の体調に変化があった場合は、速やかに管理者やケアマネに報告、連絡を取ることを周知し、早い段階での受診に繋げております。		
30		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院になった場合は、ホームでの生活状況や受診に至った経緯を伝えております。また、入院中はこまめに面会をし、入居者様の状態を確認しつつ、早期退院に向けて、病院関係者と情報交換をしております		
31	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	現在のところ、ターミナルケアについては行なっていませんが、重度化した場合や、低下が見られた際、ホームでの出来る事等をご家族様と話し合いながら、ご家族様の希望に少しでも添え、ご本人様にとって負担にならないような支援の継続を行って参りたいと思います	医師の確保ができないこととホームの体制が整わないことから、家族の理解が得られるよう、ホームでの可能な支援を説明しています。	
32		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や自己発生時の対応は大きな課題であります。やはり、職員の少ない夜間は夜勤者も不安なようです。内部研修や、事例を踏まえ対応力を身につけるとともに、少しでも不安なときは管理者に連絡するよう指示しております		
33	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災時の避難訓練は行なっておりますが、現在水災害時の対応を細かく検討しているところです。隣接する有料老人ホームの2階を第一避難場所として掲げております。市から発令する緊急メールの導入を早急に行いたいと思います	水害の心配がある地域ですが、隣接する老人ホームの2階を避難場所としています。具体的な対策については実践に至っておりません。非常口にはスロープを設置し、火災時の敷地外の避難場所を決めています。	車椅子でも安全に通行できるよう通路を整備し、飲料水の備蓄、人手の少ない夜間に協力してくれる地域の方の具体的な役割を決めておく等、様々な災害に備えた対策を期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
34	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様の性格や生活歴を把握したうえで、言葉を選び配慮しつつ、その方々に合わせた距離感や馴染みある方言を用いた言葉掛けを行なっております	利用者を理解し、その人に合わせた対応を心がけ、方言で親しく話しながらも乱暴な言葉遣いにならないように配慮しています。	
35		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様の希望や要望の収集に繋がるようコミュニケーションを日々取るよう心がけております。また、自己決定の難しい方は、表情の変化や前後の行動からご本人様の気持ちを汲み取るよう努力しております		
36		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事や水分以外は一日の流れを業務化せず、その日の雰囲気が入居者様がゆっくりと穏やかに過ごせるよう努めております		
37		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	美容院へのお出かけやお化粧品、洋服選びなどを継続し、入居者様のおしゃれに関する関心が継続できるようお手伝いしております		
38	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様のできる範囲で準備や片づけを手伝ってもらっております。また、同じメニューを同じ食卓で職員も一緒に頂き、楽しい食事の時間になるよう支援しております。	利用者に食べたいものを聞いたり、季節がわかるような献立を考え、職員が見守り、声をかけながら一緒に食事をしています。	
39		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々に合わせた食事量や形態での提供を行なっております。また、摂取量は記録に残し、全職員が把握できるよう工夫しております		
40		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、歯磨きを行い口腔内の清潔保持に努めております。必要に応じて、液体歯磨きの使用や、夜間の付け置き洗浄を行なっております		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	リハビリパンツや尿取りパットを使用されている方もいらっしゃいますが、立位の取れる方はトイレでの排泄を継続しております。自立されている方でも、排便の有無の確認や、お声掛け、見守りをして対応しております	全介助の方もおられますが、排泄用品を自分で管理されている方もあり、一人ひとりの状況に応じた支援をされています。退院時オムツ使用の利用者には生活リハビリを行うことでリハビリパンツに移行できています。	
42		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事では野菜や食物繊維を多めに摂れるような献立にし、朝の牛乳や食物繊維のサプリを利用し工夫しております。下剤や整腸剤を服用している方もおりますが、水分や散歩、軽い運動を取り入れて自力排便できるような努力をしております		
43	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	おおよその入浴予定日は決めておりますが、入居者の気分がのらない時は、無理強いせず、時間や日を変更改対応しております。また、お一人ずつ浴槽のお湯を入れ替え、ゆっくりと入浴を楽しんでいただいております	洗髪を嫌がる方や入浴を拒否される方にはそれぞれ工夫して対応されています。全介助の利用者には職員が2人で対応し、浴槽に浸かって入浴できるよう支援されています。	
44		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は、ソファでうたた寝される方、お部屋で休まれる方、それぞれ自由に休んでいただいております。夜間は、皆様それぞれの希望に合わせた就寝時間と起床時間に対応しております		
45		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬内容が変更になった場合は、申し送りや連絡帳で、変更内容や説明書を伝え周知するようにしております。また、服薬の確認表に記入しながら職員間で声を掛け合うことで、薬の飲み忘れや誤薬防止に努めております		
46		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	散歩や草取り、食事の準備や洗濯たたみ等、それぞれの得意分野や好きなことを見つけ、気分転換の方法に役立てております		
47	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	娘さんと喫茶店に行ったり、旦那さんとドライブに出かけたり、皆様それぞれです。行事でドライブを企画し年数回出かけるのですが、出かけることを好まない入居者様に関しては、無理強いせず、ホーム前での食事会などを企画し、参加していただいております	手作り弁当を持ってお花見を楽しみ、家族と通院後に食事をされる方もあります。ホームの周辺が散歩コースになっており、気分転換が図られています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者様のお小遣いは、ご家族様同意の下、事務所の金庫に保管しております。ご本人様から買い物依頼があった場合は、職員が対応し買い物しております		
49		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状や絵葉書が定期的に届き、ご本人様へお渡ししております。また、ご本人様から電話の依頼があった場合は、その都度対応させてもらっております		
50	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	定期的な換気を行い、消臭・湿度対策を行っております。また、ホールや玄関には装飾を行い、季節感を演出しております	冬季の床暖使用時には加湿器を使用し、臭いにも配慮して共用部分及び各居室の換気を適度に行っています。次亜水で感染症予防対策をされています。	
51		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファで談笑されたり、和室で新聞を余荒れたりと、皆様個々に時間を過ごされております		
52	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居される時点で、ご家族様にはご自宅で使用されていた馴染みのある物の持込をお願いしております	各居室に収納スペースがあり、清潔に管理されています。カーペットを敷いたり、それぞれの好みに応じた居室づくりをされています。	
53		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者様に合わせた設備の活用を心がけております。入居者様の安全に配慮しながら「できることの継続」を行い、支援しております		